



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月3日

上場取引所 東

上場会社名 フジ日本精糖株式会社

コード番号 2114 URL <http://www.fnsugar.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 船越 義和

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 管理本部本部長

(氏名) 佐塚 真弘

TEL 03-3667-7811

四半期報告書提出予定日 平成27年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	14,626	△5.1	701	△15.6	899	△5.4	584	3.8
26年3月期第3四半期	15,413	1.1	830	△14.7	951	△10.0	563	△14.0

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 1,057百万円 (33.1%) 26年3月期第3四半期 794百万円 (△5.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	21.78	—
26年3月期第3四半期	20.96	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	22,541	15,684	67.9
26年3月期	21,370	14,821	67.6

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 15,295百万円 26年3月期 14,435百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	9.00	9.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	9.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,000	4.2	850	4.9	960	△3.1	600	0.9	22.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	29,748,200 株	26年3月期	29,748,200 株
27年3月期3Q	2,892,459 株	26年3月期	2,889,839 株
27年3月期3Q	26,857,813 株	26年3月期3Q	26,880,812 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により、大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率の引上げに伴う景気反動や円安による原材料価格の上昇など国内景気の下振れリスクがあるものの、政府の経済政策や金融政策の効果により、企業業績及び雇用情勢が改善しつつあり、緩やかな回復基調で推移いたしました。

この様な環境下、当社グループは、製品の安定供給を最重要課題として取り組みました。特にタイのイヌリン製造連結子会社 (Fuji Nihon Thai Inulin Co., Ltd.) においては、安定的な製品供給のため、品質維持向上や現地スタッフの教育育成などに注力いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高14,626百万円 (前年同期比5.1%減)、営業利益701百万円 (同15.6%減)、経常利益899百万円 (同5.4%減)、四半期純利益584百万円 (同3.8%増) となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 精糖

精糖の業績につきましては、売上高9,515百万円 (前年同期比7.4%減)、営業利益930百万円 (同2.0%減) となりました。売上高は、引き続き、採算重視の営業活動に努めた結果、販売単価は上昇したものの、消費税率引き上げによる反動と夏場の天候不順などの影響により菓子類や清涼飲料向けが低調な荷動きとなりました。期待された秋需要も思うように伸びず、上白糖や液糖を中心に前年同期の販売数量を下回り減収となりました。利益面では、採算重視の営業活動、製造コスト削減に努めたものの、販売数量が減少したことにより減益となりました。

② 機能性素材

機能性素材の業績につきましては、売上高4,662百万円 (前年同期比0.6%減)、営業損失117百万円 (前年同期営業利益14百万円) となりました。売上高は、機能性素材全体としてはほぼ前年同期並みとなりました。機能性食品素材「イヌリン」は当第3四半期連結会計期間の後半にタイの連結子会社Fuji Nihon Thai Inulin Co., Ltd. (以下、FTIという。) からの輸入がスタートしたものの、売上増の貢献には至らず、前年同期を若干ながら下回る販売数量となりました。切花活力剤キープフラワーについても花卉業界が低迷するなか、前半の消費税率引き上げによる反動が響き、販売数量は前年同期を下回る結果となりました。連結子会社ユニテックフーズ株式会社は主力のコーゲンの拡販などにより増益となったものの、OEM受託の不振などにより売上高は若干ながら前年同期を下回りました。利益面では、FTIにおいて、工場の本格稼働がスタートしたものの、安定生産までの費用先行が影響し、営業損失となった結果、機能性素材全体で減益となりました。

③ 不動産

不動産の業績につきましては、売上高448百万円 (前年同期比0.4%減)、営業利益398百万円 (同1.7%増) となりました。保有不動産の稼働率や維持管理費は概ね計画どおり推移しており、安定収益として貢献いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ5.5%増加し、22,541百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各財政状態の変動状況は、次のとおりであります。

① 資産

資産につきましては、流動資産で前連結会計年度末に比べ3.2%増加し、8,856百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金、棚卸資産の増加等によるものであります。

また、固定資産は前連結会計年度末に比べ7.0%増加し、13,684百万円となりました。これは主に投資有価証券の増加等によるものであります。

② 負債

負債につきましては、流動負債で前連結会計年度末に比べ0.2%減少し、3,730百万円となりました。これは主に買掛金の減少等によるものであります。

また、固定負債は前連結会計年度末に比べ11.2%増加し、3,126百万円となりました。これは主に長期借入金の増加及び固定負債「その他」に含まれる繰延税金負債の増加等によるものであります。

③ 純資産

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ5.8%増加し、15,684百万円となりました。これは主に時価上昇によるその他有価証券評価差額金の増加及び四半期純利益計上による利益剰余金の増加等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の連結業績予想につきましては、平成26年4月30日付け公表の通期業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社が発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更等)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更し、割引率の決定方法を割引率の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が73,818千円減少し、利益剰余金が47,538千円増加しております。また、この変更による当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,111,695	1,802,262
受取手形及び売掛金	2,451,842	2,635,227
有価証券	385,719	377,585
商品及び製品	1,279,058	1,836,569
仕掛品	109,595	159,235
原材料及び貯蔵品	1,097,743	914,127
その他	1,152,281	1,135,274
貸倒引当金	△3,282	△3,989
流動資産合計	8,584,653	8,856,292
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	679,664	1,055,425
機械装置及び運搬具(純額)	158,279	1,709,821
土地	2,048,834	2,048,834
建設仮勘定	1,658,701	9,245
その他(純額)	91,041	106,144
有形固定資産合計	4,636,521	4,929,472
無形固定資産		
のれん	685,798	604,806
その他	99,888	91,104
無形固定資産合計	785,686	695,911
投資その他の資産		
投資有価証券	5,153,069	5,824,959
関係会社長期貸付金	1,980,852	2,011,052
その他	293,532	280,161
貸倒引当金	△64,140	△56,718
投資その他の資産合計	7,363,312	8,059,454
固定資産合計	12,785,521	13,684,839
資産合計	21,370,175	22,541,131

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,505,769	1,291,787
短期借入金	1,182,696	1,267,846
未払法人税等	203,136	138,300
賞与引当金	110,896	50,513
役員賞与引当金	9,100	-
その他	725,019	981,664
流動負債合計	3,736,618	3,730,111
固定負債		
長期借入金	1,551,216	1,749,316
役員退職慰労引当金	183,175	176,816
退職給付に係る負債	203,125	54,607
資産除去債務	66,603	63,895
その他	807,716	1,082,007
固定負債合計	2,811,837	3,126,643
負債合計	6,548,455	6,856,754
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,524,460	1,524,460
資本剰余金	2,530,171	2,530,171
利益剰余金	10,016,829	10,407,480
自己株式	△714,805	△715,708
株主資本合計	13,356,655	13,746,402
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,020,619	1,417,191
為替換算調整勘定	77,752	147,994
退職給付に係る調整累計額	△19,219	△16,159
その他の包括利益累計額合計	1,079,152	1,549,027
少数株主持分	385,910	388,946
純資産合計	14,821,719	15,684,376
負債純資産合計	21,370,175	22,541,131

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	15,413,163	14,626,881
売上原価	12,029,060	11,532,228
売上総利益	3,384,102	3,094,652
販売費及び一般管理費	2,553,123	2,393,497
営業利益	830,979	701,154
営業外収益		
受取利息	35,613	32,542
受取配当金	47,619	49,869
為替差益	1,914	57,083
持分法による投資利益	34,894	58,701
その他	18,212	31,728
営業外収益合計	138,254	229,925
営業外費用		
支払利息	16,134	28,327
その他	2,099	3,034
営業外費用合計	18,233	31,361
経常利益	951,000	899,719
特別利益		
投資有価証券売却益	11,540	-
特別利益合計	11,540	-
特別損失		
固定資産除却損	2,091	125
投資有価証券評価損	3,739	445
特別損失合計	5,830	570
税金等調整前四半期純利益	956,710	899,148
法人税、住民税及び事業税	362,483	319,683
法人税等調整額	49,709	47,888
法人税等合計	412,192	367,572
少数株主損益調整前四半期純利益	544,517	531,576
少数株主損失(△)	△18,993	△53,260
四半期純利益	563,511	584,836

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	544,517	531,576
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	247,898	396,572
為替換算調整勘定	△132	125,103
退職給付に係る調整額	-	3,060
持分法適用会社に対する持分相当額	2,187	1,435
その他の包括利益合計	249,953	526,170
四半期包括利益	794,471	1,057,746
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	813,524	1,054,710
少数株主に係る四半期包括利益	△19,053	3,036

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成 25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	精糖	機能性素材	不動産	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,272,027	4,690,885	450,249	15,413,163	—	15,413,163
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,582	7,146	832	14,561	△14,561	—
計	10,278,610	4,698,032	451,082	15,427,725	△14,561	15,413,163
セグメント利益	950,235	14,040	392,106	1,356,382	△525,402	830,979

(注) 1 セグメント利益の調整額525,402千円は、報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門及び研究開発室に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成 26年4月1日 至 平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	精糖	機能性素材	不動産	計		
売上高						
外部顧客への売上高	9,515,982	4,662,544	448,353	14,626,881	—	14,626,881
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	1,240	1,240	△1,240	—
計	9,515,982	4,662,544	449,594	14,628,122	△1,240	14,626,881
セグメント利益又は損失(△)	930,962	△117,686	398,797	1,212,074	△510,919	701,154

(注) 1 セグメント利益の調整額510,919千円は、報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門及び研究開発室に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。